

観光 地域

実施内容

場 所
スタート

シーニック情報拠点～ルート第一号『よろーな』

No.23

H28

ルート内の情報発信及び、広域連携エリアの情報等を発信・案内するための、情報拠点を設置した。JR名寄駅前すぐのため立ち寄りやすく、また、ルート事務局であるNPOなよろ観光まちづくり協会があるため、その場で説明いただけるメリットもある。

現在は当ルートのパンフレットが多いが、宗谷シーニックバイウェイや大雪富良野ルートなど、近隣ルートのパンフレットも増やし、周遊観光に向けた工夫を行って行きたいと考える。当ルートには3つのエリアで構成されているため、各エリアに情報拠点を設置し、各町を繋いでいけることを目指す。

駅前交流プラザ「よろーな」1階エントランスホール（名寄市東1条南7丁目1-10）
平成28年10月5日（水）より開設

- ・時間／9～17時
- ・休み／年末年始
(12/31～1/5)



観光 地域

実施内容

日 時
会 場

シーニックバイウェイの取組みPR in道庁赤レンガ

継続 No.24

H28

「天塩川流域ミュージアムパークウェイ」の地域活性化・観光振興を目的に、ルートの活動PRブースの設置と、各地域の特産品の販売を行なった。継続実施の当イベントは、今年は2日間の実施とし、シーニック全体のPRとともに、ルートの魅力を知ってもらうため、惹き付け役に各地域の御当地キャラクターによるPRも行った。

平成28年10月14日（金）15日（土）
道庁赤レンガ庁舎前庭特設会場



29

全体

実施内容

日時・参加

和泉晶裕氏とのシーニックに関する意見交換会

No.25
H28

現在、指定ルート申請のに向けて活動の充実を図っているところであり、担当者による会議や活動を通じて、シーニックパイウェイへの理解も少しずつ深まり、ルート内での連携も広がってきている。また、昨今は宗谷ルートとの広域的な連携による取り組みなどを通じて、人の繋がり・活動の幅が広がってきている。そこで、シーニック立ち上げから、長年、シーニックパイウェイを先導されている和泉氏をお招きし、指定に向けた当ルートへのアドバイスなどをお伺いし、今後、メンバー間での共通認識を持ち、活動のさらなる充実を図った。

▲意見交換会：名寄駅前交流プラザ「よーな」

平成28年11月9日（水）8：30～10：00

国土交通省北海道局地政課 課長 和泉 晶裕 氏

天塩川流域ミュージアムパークウェイ（栗原ルート代表代理・山崎副代表他：計13名）

推進協議会事務局（仲田）、旭川開発建設部（6名）、ルーター（dec芝崎、富田）

◆意見交換：和泉氏からのアドバイス（抜粋）

＜広域観光周遊ルートとシーニック

／指定に向けたアドバイス＞

- ・ **広域観光周遊ルートを北（道北）に展開**するようになって、そこに今の候補ルートが指定ルートを目指すというのは、**いいタイミング**である。
- ・ シーニックの活動がベースにならないと、この周遊ルートも上手くまわらないだろう。
- ・ 周遊ルート自体はとも大い。大きな活動をするというのは非現実的である。
- ・ **エリア毎にちゃんと周遊の活動を仕込んでいき**、それが相対として積み上がり、一つの大きな周遊ルートになっている。いわば、**周遊ルートは全体の大きな「傘」みたいな制度で、その具体的な活動のひとつがシーニックパイウェイとなるように考える。**（＝周遊ルートを形成する手法がシーニック）
- ・ 北海道の観光の根本的な問題として、はざかい期に何をどうするかを考えることが重要。
- ・ **今後のドライブ観光として、外国人が増える。**日本人がどれくらい増えるかというのは不透明。外国人にどう買ってもらえるか**プレゼンテーションの工夫**など、受け皿として準備していくべき（道の駅等）。
- ・ ネットワークとしては、活動団体でなくても、（個々の活動に対する）**協力団体・応援団体**というような、そういう**緩く声をかける団体をもう少し募っていく**のは必要かもしれない。
- ・ 活動計画書を作ることはもちろん必要ではあるが、このこと自体が目的ではない。さらには、**指定にすることが目的、目標となるのではなく、その先が重要**である。



30

全体

実施内容

日時
場所
主催
共催

参加人数

広域連携による地域の取り組み報告会の開催 in名寄

No.26
H28

本年度実施したルートの取り組み、及び、広域的に連携した取り組みの報告会を行った。当ルートと宗谷ルートの「きた北海道エコ・モビリティ」に関する考えと活動報告を中心にパネルディスカッション形式で行い、今後の展開などを検討した。コーディネーター原氏からは、先進地の好事例なども参考として紹介され、具体的な例がとても参考となった。あわせて、観光庁の広域観光周遊ルート「日本のてっぺん。きた北海道。」について理解を深めるため、観光振興機構より説明をいただいた。ルート代表者会議後に開催としたことが効果的で、多くの参加となった。これまでこのような広域的な報告会はルート主体では実施したことがなかったが、会場の参加者からも多様な意見・アイデア等をいただき、ルート外の方々とも情報交換もできた、とてもよい報告会であった。 *実施内容詳細はチラシを参照

平成28年11月30日（水）15：30～17：30

グランドホテル藤花（名寄市）

天塩川流域ミュージアムパークウェイ

宗谷シーニックパイウェイ運営代表者会議、

萌える天北オロロンルート代表者会議、

（一社）シーニックパイウェイ支援センター

約80名



栗原 智博

▲当ルート
栗原代表代理



←（左から）支援センター原氏、宗谷シーニックパイウェイ杉川事務局長、観光振興機構遠藤部長



広域観光周遊ルートと 広域連携による地域の取り組み 報告会

本会、きた北海道と旭川・札幌をつなぐ広域観光周遊ルート「日本のてっぺん。きた北海道」が新たに国土交通省から認定されました。広域観光の促進にあたっては、地域の多様な主体が地域の強みを発揮し、第一・二次産業を軸に、観光メニューを創出することが求められます。本報告会では、シーニックパイウェイなど広域観光に資する地域づくりの取り組みを連携しながら進めるための意識統一を図ります。

広域観光周遊ルートについて 道北9市町村サイクリング周遊メインルート確立事業について 天塩川流域ミュージアムパークウェイ事業報告 宗谷シーニックパイウェイ事業報告 きた北海道エコ・モビリティ先進地視察報告	日時 平成28年11月30日（水）15：30～17：30 会場 グランドホテル藤花 名寄市5条6丁目 TEL 01654-9-2323 主催 天塩川流域ミュージアムパークウェイルート運営代表者会議 共催 宗谷シーニックパイウェイ運営代表者会議 萌える天北オロロンルート代表者会議 （一社）シーニックパイウェイ支援センター 後援 宗谷観光連盟 道北観光連盟 北海道観光振興局 北海道観光振興局旭川開発建設部 北海道観光振興局稚内開発建設部 お問い合わせ 天塩川流域ミュージアムパークウェイルート運営代表者会議 事務局 NPO法人なよろ観光まちづくり協会 〒096-0001 名寄市第1条第7丁目1-10 新緑交流プラザ2階 TEL 01654-9-8711 FAX 01654-9-0712
---	---

観光 地域

実施内容

日時・場所
主催

参加

天塩川フォーラム in 士別

北海道遺産である天塩川を基軸とした、交流人口の拡大、地域振興に取り組んでいる、デッシー・オ・ペツ賑わい創出協議会が主催するイベントで、継続的に実施されている。天塩川に所縁が深く、北海道の命名者でもある「松浦武四郎」の事業に力をいれ、平成30年で生誕200年を迎えること、北海道命名150年などを含めた講演会を開催した。毎年、開催会場を変更し、また、天塩川沿線地域の特産品の販売や体験なども同時に開催し、各地域の方々が参加しやすいような工夫も行っている。次年度も継続して実施する予定。

平成29年2月12日(日) 10:00~15:00、士別市民文化センター
デッシー・オ・ペツ賑わい創出協議会(天塩川周辺11市町村;士別市、名寄市、天塩町、豊富町、中川町、音威子府村、美深町、下川町、幌加内町、剣淵町、和寒町)
フォーラム(120名程度)



▲フォーラム



▲地域特産品の販売、体験コーナー



▲御当地弁当(下川町)。箸も下川産。

～冬を乗り越え、こころとからだを元気に～
真冬のソロウCAFE Vol.4
2017.2.12 SUN 10:00~15:00
士別市民文化センター1階

前座 下川町 カフェ・ノボリ	前座 下川町 SORU KOUBOU	前座 下川町 イナズマ・フーズ
主役 下川町 しのだ・ゆき	主役 下川町 パン工房 color	主役 下川町 フーズ・あるる
後座 下川町 おにぎり・おにぎり	後座 下川町 おにぎり・おにぎり	後座 下川町 おにぎり・おにぎり

松浦武四郎の生誕地、三善徳松閣市の特産品をスロウカフェ会場でお楽しみください!

▲案内チラシ

同時開催
天塩川フォーラム
会場 士別市民文化センター4階 小ホール

第1部 10:30~12:00 第2部 13:00~14:00 第3部 14:00~15:30

第1部「天塩川を語る」 第2部「天塩川の(命名)と」 第3部「天塩川と三善徳松閣市との関係」

天塩川マーケット
会場 士別市民文化センター1階(ソロウカフェと同時開催)

天塩川のソロウカフェ
10:00~15:00 (同時開催)

天塩川のソロウカフェ
10:00~15:00 (同時開催)

32

全体

実施内容

視察箇所

日時・参加

山田桂一郎氏によるルート視察

日本のみならずスイスなどもフィールドとし、海外の事情に詳しい観光カリスマ・山田桂一郎氏に、当ルートの資源を視察いただき、活用方法などのアドバイスを戴いた。また、視察後に、名寄市内にて山田氏による講演会が開催(主催:運輸局)され、今回の視察とあわせて、地域全体を盛り上げていくための考え方などについてアドバイスを戴いた。

道の駅もち米の里なよろ、天塩弥生駅(昼食、地域の新たな観光スポット)、ピヤシリスキー場・ジャンプ台(見学)、サンピラーパーク(カーリングの見学・体験)

平成28年2月27日(月) 12:00~14:00

*講演会/15:00~(参加人数:約50名)

◆山田氏よりアドバイス

- ・「地産地消」を「地消地産」として、地元が地元を支える仕組みをつくり、**当地でなくてはならない商品化を目指す。**
- ・スイスは、**そこにいくと、そこにしかないものばかり。**この地域にもいいものはあるのだから、そこを考えるといい。
- ・遠くからわざわざ来るとお金を使う。使うためにお金を持ってくる。その**お金をどこで使わせるか。戦略的に使わせることを考えるべき。**
- ・お金を使う人は「観光客」、お金を使わない人は「観光者」。
- ・マーケットを考える上では、**自分達主義にならず、お客さんが欲しいもの**を考えること。客の視点にたっていないから儲けることに繋がらない。
- ・地方に足りていないのは「仕事」ではなく「人手」。
- ・是非、「観光地」を「感幸地」へとしてほしい。
- ・**手間と時間をかけないと人はついてこない。**失敗しているのは、手間と時間をいかにかけずに、楽をしながらという案で進んでいるから、儲けるわけがない。



33

全体

石井至氏によるルート視察

No.29

H28

実施内容

広域観光周遊ルートの委員である石井氏が名寄市にて講演をされることを機会に、講演前の時間に、当ルートの資源を視察いただいた。ルートとの意見交換の場はなかったが、地域を見ながら様々なアドバイスをいただいた。また、諸外国の先進事例などを通して、観光で地域を盛り上げて際の考え方などをアドバイスいただいた。

視察箇所

北国博物館、天塩弥生駅（珈琲ブレイク）、道の駅もち米の里なよろ（昼食）、ピヤシリスキー場（見学）、サンピラーパーク（カーリングの見学・体験）、きたすばる天文台

日 時

平成28年3月2日（木）11:00～13:30/15:30～18:00



▲北国博物館



▲天塩弥生駅



▲サンピラーパーク



▲きたすばる天文台

34

△ピヤシリスキー場。
冬期の新しい観光メニューについてアドバイスをいただいた。

全体

冬期イベントの実施

No.30

H28

実施内容

当ルートの全地域で、それぞれの“特別感”を出しながら、参加体験型の冬のイベントを実施している。ルートで共通した情報発信は行っていないが、イベント実施の日も同日ではないことが多いため、ルート内を周遊いただくための事前告知（周知方法）や手法（スタンプラリーや共通ポスターなど）について検討し、より効果的なPR活動を行いたい。今年度は特に、住民参加型の「道」を活用した取り組みも始まり、明るく、安心な道づくりにも繋がった。

日 時

平成28年2月上旬～3月下旬まで

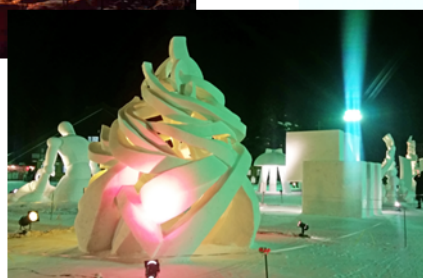
*全ての地域で実施しているが、下記は一部参考までに紹介する。



▲アイスクャンドル発祥地の「しもかわアイスクャンドルミュージアム」



▲国際雪はね選手権。雪をひたすらはねる力強さに見惚れる。



▲国内・海外からの応募で12チームが雪の彫刻美を競う。



▲国道40号沿いの商店街や各家庭が個々人で作る「雪燈籠」は圧巻。

35

全体

実施内容

ルートパンフレットの作成

No.31

H28

今年度実施した、ルート内の地域資源や周遊ルートなどの結果をもとに、ルート全域で共通してPR、活用できるパンフレットの作成を行った。地域概要や資源、体験メニューの紹介、裏面から進むと、シーニックの取り組みを紹介しているものとした。また、インバウンド対応を考え、パンフレットは日本語版をベースに英語版を作成した。

今後の会議等にて、より効果的な配布箇所等の検討を行う。発行は4月以降。

(2017.3.17.現) * 作成は観光振興機構の単年度助成金を活用



▲地域資源などの紹介から始まる表紙（案）



▲シーニックバイウェイの紹介から始まる表紙（案）



▲シーニックバイウェイの表紙をめくった紹介頁。「シーニックとは」、ルートの取り組みを簡単に紹介と、エコモビリティの紹介をメインとして、写真を上手く活用して紹介する。（上記は日本語での構成中の案）

(2) 今後の活動計画

▲中・長期計画～この地域の5年後のカタチ～

平成28年度に「広域観光周遊ルート」に認定されたことを当ルート、当地域にとってのビックチャンスとして捉え、この5年間を目標に、海外からの観光客を意識した受入れ環境の整備、特に言語対応、案内や情報発信の充実などを積極的に行い、ルート内の環境を整えていきます。また、隣接するルートとの連携を図り、ガイドの育成、統一感のある案内や共通した情報発信などを広域的な視点を持ちながら、「きた北海道」全体が魅力あるエリアとなるようルート一体となって進めていきます。

さらには、日本人観光客を対象としたきめ細やかなサービスの提供を目指し、ルート活動団体と観光・集客施設等との情報共有を徹底し、現状の把握とともに課題・問題点の共有などを行い、再び訪れたいと思えるようなルート（エリア）作りを目指します。

5年後に、現在の二次交通の脆弱さを埋められるだけの別の交通機関が存在するとは考えられず、人力による移動を含め、地域をゆっくり時間をかけて堪能いただくため、この「不便さ」を「良さ・魅力」として捉えられるような、個性・独自性のあるルートとして定着できることを目指します。

平成34年度（5年後）にならなきたいルートのカタチ

	そのために5年間で実施・形作っていくもの
★景観／ おすすめ広域観光周遊ルート 周辺の魅力ある景観形成 ★地域／ 地域住民と来訪者の交流に よる賑わいあるエリア ★観光／ 地域産業と特性を活かした 独自性ある観光空間	●地域住民等と連携したコース周辺の清掃活動、除草活動の継続的な実施 ●おもてなしの道づくり～花植活動～の継続的な実施 ●次世代を担う若い人達との交流によるボランティア活動 ●歴史文化施設、廃線跡などを活用したイベント等の実施～地域住民の地域（資源）への愛着の醸成

▲短期・中長期計画 ～平成29年度（詳細）／平成30年～33年度まで～

景観	地域	観光空間	活動内容	具体的な活動（目標）	（活動内容詳細）	平28年度	平成29年度													平30年度				平31～33年度		
						4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	7月	10月	12月				
			広域的で良好な 周遊観光ルートの形成	▲メインコースの設定 （自転車／カヌー／フットバス）	天塩川SBWのメインコース（自転車での周遊オスメルート）の設定	設定(10月)	見直し・検討		コース確認	設定																
				▲メインコースの環境整備	天塩川SBWのメインコース上でのサイクルラックの設置、サイクルオアシス等の検討	一部、ラックの試行設置	ラック:受入体制調査⇒整備⇒設置(順次)／オアシス:検討							撤去		(オアシス:検討)			(継続)							
				▲メインコース周辺の景観整備	天塩川SBWのメインコース周辺の良好な景観形成(清掃活動、花植え活動)、景観チェック					検討	実施								(継続)							
				▲メインコースのモニターツアーの実施	ツアーの実施(＋アンケート調査等の実施)		9月、10月実施(モニターツアー)	見直し・検討			ツアー／アンケート	集計														
				▲ルートの景観診断	ルート内の現地確認(視察)（地域資源やビューポイント箇所の確認(発掘)、広域的な連携企画など）	ツアー前の事前調査				準備、コース設定	実施	整理														
				△ビューポイント箇所の整備	ビューポイント箇所への看板等の設置、広報・PR(ビューポイントパーキングへの登録)															(継続)						
				▲花植え活動、除草	実施:コスモスロード、ひまわりロード、そばの花ビューポイント沿道の除草 他（各地域）	各地で実施			桜	花植え	ひまわり	そば花	コスモス							(継続)						
				△清掃活動	実施:天塩川クリーンアップ大作戦 他（各地域）	実施														*各地域へ実施時期の確認						
							実施													(継続)						
			きた北海道 エコ・モビリティ事業の推進	▲きた北海道エコ・モビリティマップの作成	マップ使用素材収集、作成（＊宗谷SBWとの連携）	素材収集／内容検討	構成										配布先検討	完成	配布(GW)							
				▲きた北海道エコ・モビリティに関する情報発信①	PRビデオの作成、公開(youtube)（＊宗谷SBWとの連携）	作成済(ロングコース)	検討(エコモビコース)⇒制作												(継続)							
				▲きた北海道エコ・モビリティに関する情報発信②	SNS(またはHP)の開設（＊宗谷SBWとの連携）	公開中	継続:随時更新												(継続)							
				▲きた北海道エコ・モビリティに関する勉強会の開催	勉強会の準備、開催(内容案:専門家による講演、活動実施報告等)（＊宗谷SBWとの連携）	10月実施					準備、調整等		開催													
				▲きた北海道エコ・モビリティのモニターツアーの実施	ツアーの実施、アンケート調査の実施	10月実施(モニターツアー)				準備、調整等		ツアー／アンケート	集計													
				▲先進地視察	先進地への現地視察（視察国:スイス、台湾）	9月実施																				
				△サイクルイベントの実施	実施:剣淵町、中川町 等（共催:天塩川SBW）	各地で実施					剣淵								随時							
				△カヌーイベントの実施	実施:ダウン・ザ・テッシェーオーベツ実行委員会	7月実施				準備、調整	実施								実施(7月)							
			ルート内連携による情報発信	▲ルートオリジナルロゴの作成	ロゴマークの作成 ※ロゴの活用は名称確定後(指定ルート確定後)																					
				▲連携ポスター等の情報発信	ルート内の地域イベント・資源等の連携ポスター(またはパンフレット等)の作成	パンフ英語版:3月完成	配布（配布計画、多言語版の検討）												作成(冬ポスター)	配布			(継続配布)			
				▲情報拠点の設置	ルートの情報発信箇所の設置(パンフレット等の配布、周遊観光案内等)	設置・名案(10月～)	継続																			
				▲各地イベントでのルートPR	各地イベントでの天塩川SBWのPR活動(ブース設置、パネル展示・パンフレット等の配布など)	各地で実施					水防イベント	秋味まつり(中川)	赤レンガ						随時							
			歴史・文化と森林文化の活用	▲森林資源の活用	クラフト体験(美深・恩根内、音威子府)、音威子府高校との連携	一部、地域で実施	通年												(継続)							
				▲地元木材を活用したスタンドの制作	サイクルラックのキッドの検討、作成	作成済																				
				▲林業体験イベントの実施	※「きこり祭り」「森ジャム・チェーンソーアート」等への天塩川SBWの共催など	各地で実施					森ジャム(下川)							きこり祭り(中川)	随時							
				▲フォトコンテストの開催	募集要項の作成、応募、審査会の開催、展示														検討							
				▲地域ガイドの発掘	カヌーガイド／サイクルガイド／フットパスコースガイドの発掘、人物ブックの作成						企画検討、準備	働きかけ														
				▲地域ガイドの育成	小中学生を対象としたガイド育成授業の実施、ガイドブックの作成 ※地域おこし協力隊ならぬ「地域魅力つたえ隊」とか、協力隊の弟子的な。						企画検討								(本実施年)			(継続)				
				△「森林」&「水」の教育	子供向け企画の検討、実施						企画検討								(本実施年)			(継続)				
				▲「松浦武四郎」にまつわる地域の文化継承	企画検討、実施（＊萌える天北オロロンルートとの連携 ほか）	天塩川フォーラム開催(2月)					企画検討								実施							
																				*記念の年						
			地域産業の活用	▲御当地グルメの開発	各地の御当地食材のリスト作成、食の開発(企画、制作)、販売／観光加内高校(蕎麦)との連携																					
				▲道の駅との連携	サイクルラックの設置への協力、モビリティ等の情報発信 等														企画検討	(どこかで試行実施)						
			ルート運営等																検討	(継続)						
				▲ルート運営代表者会議(全体会議)	総会年1回＋臨時会議	5月、11月	準備・調整⇒会議			審査委員視察(6/24・25)									(継続)				(継続)			
				▲エリア会議	3エリア(北部、中部、南部で調整し開催)		準備・調整⇒会議																(継続)			
				▲担当者会議	年5回程度:活動内容の検討・実施、活動計画書案の作成 等																			(継続)		
				▲シーニック勉強会等の開催	指定ルート申請に向けたシーニックに関する勉強 ※指定ルートの方や推進協議会の方をお招きしてアドバイスを戴くなど。	石田孝生(7月)、和泉理恵(11月) 報告会(11月)	★必要に応じて開催																			
景観	地域	観光空間	活動内容	具体的な活動（目標）	（活動内容詳細）	4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	7月	10月	12月				